

3 教育・文化分野

(教育・文化分野－1)

『熊本大学大学院 「eラーニング」の専門家をeラーニングで育成』

日本発eラーニングの専門家養成のためのeラーニングによる大学院。
eラーニングの専門家となるために、教育活動やコース・教材をシステムとしてとらえ、科学的・工学的にアプローチしようとする教育研究分野である「教授システム学」を学ぶ。

全国どこからでも授業を受けられるインターネット大学院である。

(<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>)

(熊本大学ホームページより)

Graduate School of
Instructional Systems
教授システム学専攻
熊本大学大学院 社会文化科学研究科

お知らせ ご挨拶 コンセプト 専攻概要 科目 教員 入試情報 お問い合わせ FAQ 関連リンク

インターネット時代の教育を切り拓く

eラーニングの専門家をeラーニングで養成する大学院

日本初 インストラクショナル・デザイン系のeラーニング専門家養成大学院です。
インストラクショナル・デザイン、情報技術、知的財産権、eラーニングや教育活動のマネジメントを体系的に修得できます。

全国どこからでもネット授業を受けられるインターネット大学院です。
遠隔学習により、自宅や職場で働きながら学位(修士)が取得可能です。

企業内教育、大学教育、学校教育、民間教育産業など広範な分野に人材を送り出します。
教育効果本位のIT活用ができる人材を養成します。

[→ 資料請求](#) 募集要項・案内を希望される方は、「資料請求」ボタンを押してください。

News & Topics

2007.3.2
科目等履修生[前学期(4月)入学]の出願期間は終了しました。

2007.2.23
平成19年度教授システム学専攻(修士課程)入学試験の合格者が発表になりました。→[詳細はこちら](#)

2007.1.16
修士課程の出願期間は終了しました。出願状況は[こちら](#)です。

2006.11.27
平成18年度入学試験問題を公開しました。→[詳細はこちら](#)
→[過去のお知らせはこちら](#)

Copyright © 2005 Kumamoto University

(問い合わせ先) 熊本大学 人文社会科学系事務部 TEL096-342-2326

(教育文化分野－2)

『市進予備校 ウイングネット (映像配信 & DVD)』

集団を対象とするライブ授業に加えて、VOD (ビデオ・オン・デマンド) 方式による授業を展開する。

高校生を対象とし、受講の日程や時間は部活や習い事など自分の都合に合わせて自由に設定可能。時間に制限を受けず受講が可能となることからクラブ活動などとの両立を図ろうとする生徒にとって有利。

何度も繰返して学習することが可能であるほか、専属チューターに対して質問ができるため、個別指導に近い学習環境となっている。

(市進予備校ホームページより)

The screenshot shows the ICSHIS website header with navigation links for '会社案内', '携帯サイト', 'サイトマップ', and 'ホーム'. Below the header is a menu with categories: '小3～小6指導 市進学院 小学部', '中1～中3指導 市進学院 中学部', '高1～高3指導 市進予備校', '小1～高卒指導 個太郎塾', and '小1～高卒指導 家庭教師のITB'. On the left is a vertical sidebar menu with items like '市進予備校トップ', '最新ニュース', '指導コース', '講習会', etc. The main content area features a blue header for '市進予備校の「ウイングネット(映像配信 & DVD)」' and a red sub-header 'ウイングネット(個別対応・映像配信授業)って何？'. Below this are three images: a person wearing headphones, a classroom with students at computers, and a student at a computer workstation.

「ウイングネットルーム」という専用の部屋に、個別に仕切られたブースが用意されています。
 個別のパソコン画面に向かい、ヘッドフォンを着用して視聴します。ヘッドフォンは、普段自分が使い慣れているものを使うこともできます。画面には、市進予備校の人気・実力講師による本科の授業と同じ内容が映像として流れます。

受講の日程や時間は、部活や習い事など、自分の都合に合わせて自由に決定できるのです。だから、夜8時からでも大丈夫。土曜や日曜に集中して受講することもOK。部活がハードだった先輩たちも、これで授業を休まずに乗り切ったのです。

パソコンは、誰にでも簡単に操作でき、巻き戻し再生や早送りも自由です。納得できるまで何度でも見直せるというのが、先輩たちから大好評だった一番のポイント。

さらに、ウイングネットルームには専属チューターがいて、その場ですぐに質問できるのです。まるで、個別指導みたい、と言われるのは、そんなところにも理由があるのです。

(問い合わせ先) 株式会社市進 TEL047-335-2888

(教育・文化分野－3)

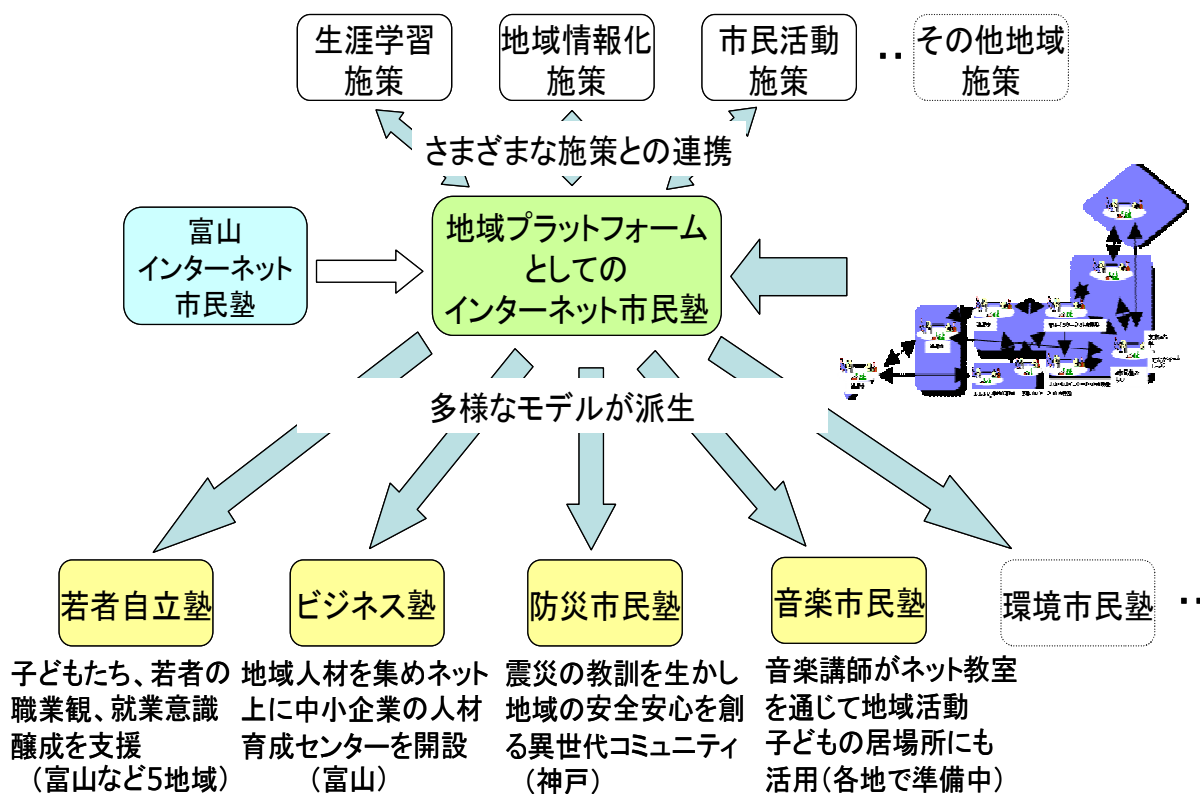
『富山県 インターネット市民塾』

インターネットとパソコン1台で、いつでもどこからでも講座の受講・開催ができる便利なサービス。県、市町村、大学、企業及び市民が会員となって、推進協議会を設置し運営を支えている。

インターネットを通じて公的機関、企業、大学のほか、市民も講座や私塾を簡単に開催できるよう工夫していて、地域の中にある市民の「知」を顕在化させ集積する役割を果たしている。

「知」の集積は地域社会に目を向ける市民を集め、若者の自立支援、中小企業の人材育成、防災市民塾など、ICTを活用して多様な地域活動が派生するプラットフォームとなっている。

■地域プラットフォームとしての波及



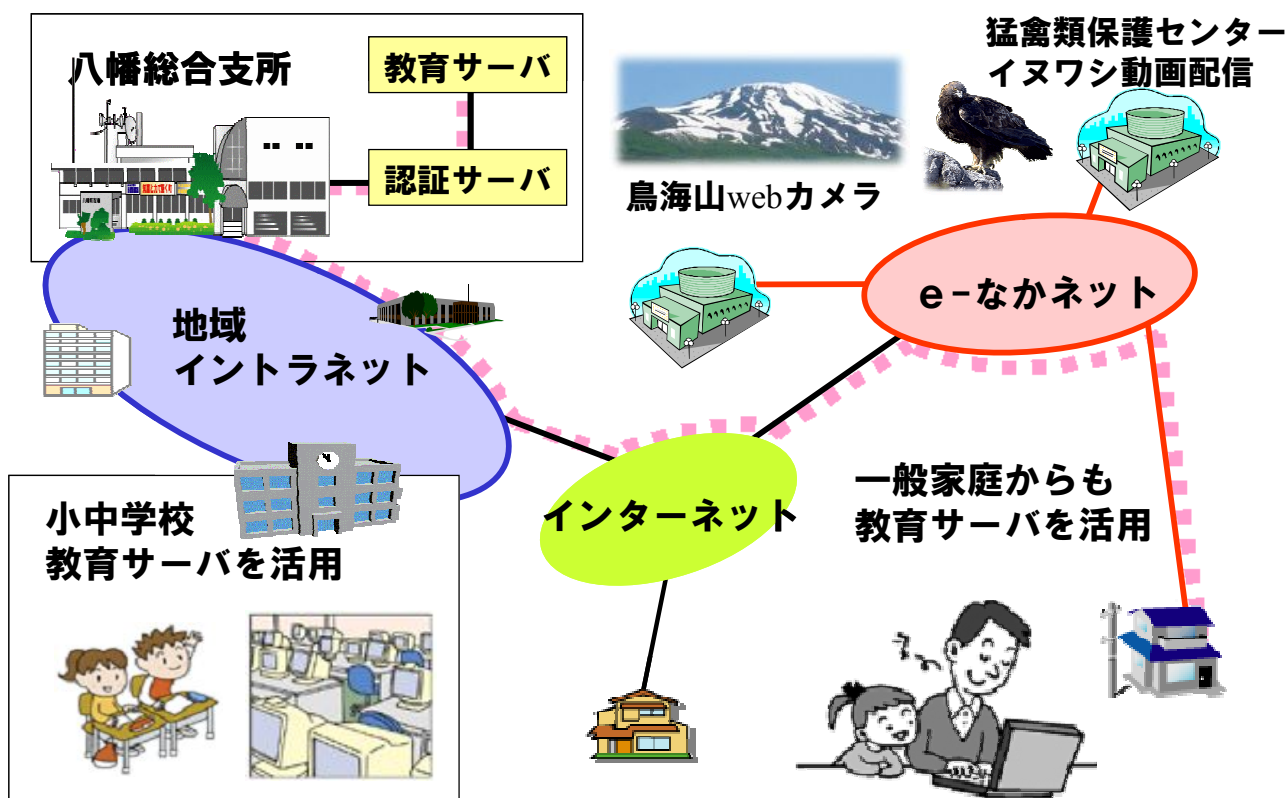
(富山インターネット市民塾推進協議会作成資料より)

(問い合わせ先) 富山 インターネット市民塾推進協議会事務局
TEL 076-439-8666

(教育・文化分野－4)

地域イントラネットを活用した学習支援システム
(山形県酒田市)

児童・生徒たちの学習意欲・能力の向上を図るため、地域イントラネットを活用した学習支援システムを旧八幡町において構築。学校授業時での学習教材や資料を、加入者系光ファイバ網整備事業で構築したインターネット網を通じて提供。



(酒田市資料より)

(教育・文化分野－5)

『福岡県教育センター講座配信サービス』

(<http://www.educ.pref.fukuoka.jp/elnetstream.html>)

県教育センターが教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）で配信した講座（講演・研究発表等）を動画配信している。
(福岡県ホームページより)

(問い合わせ先)

福岡県企画振興部情報政策課 TEL092-643-3229

(教育・文化分野－6)

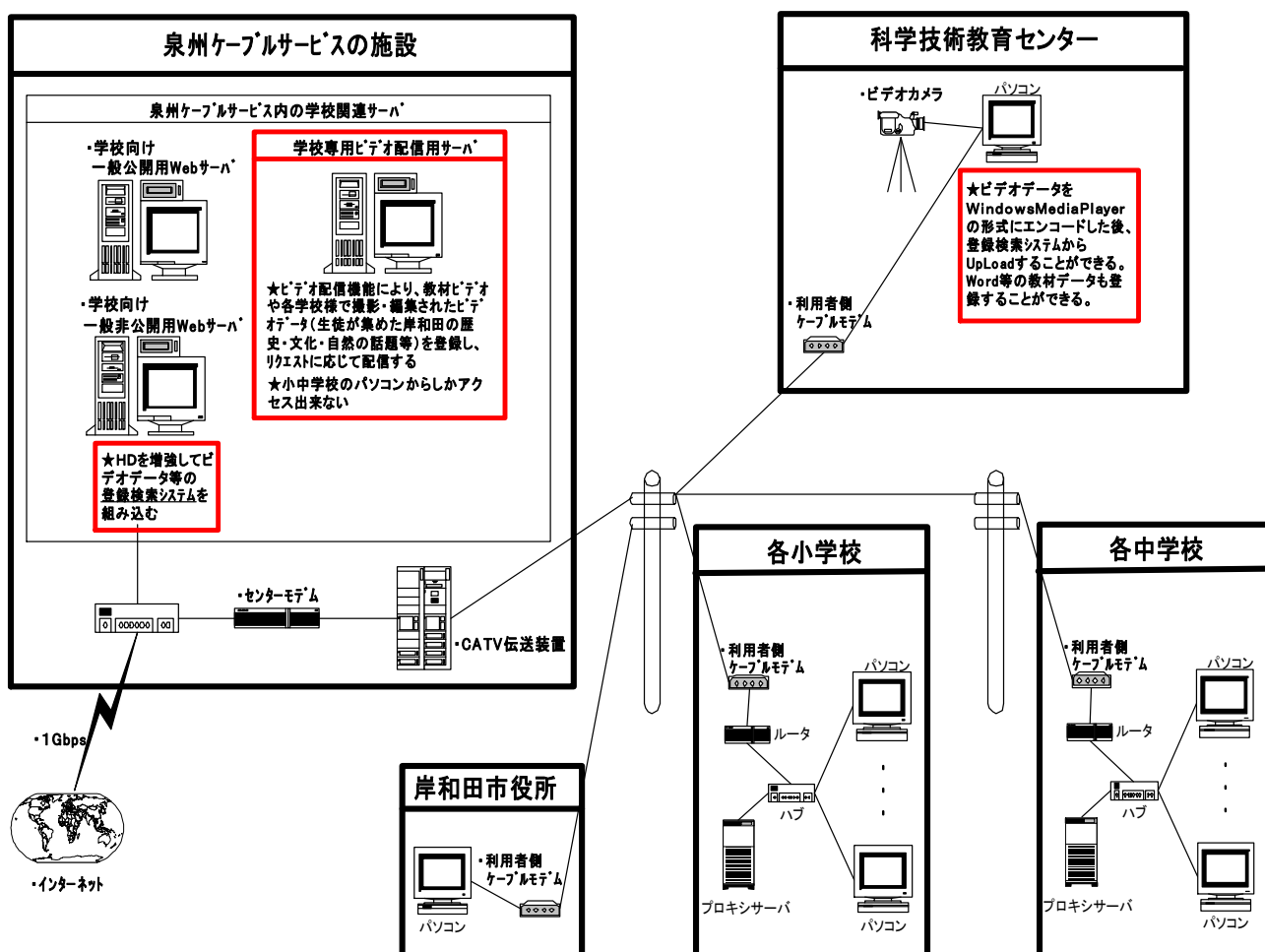
『大阪府岸和田市 学校間インターネットビデオ配信』

学校放送や公開授業をインターネットにより配信している。コンテンツのデータベース化や教材・資料のデータベース化により、教職員の情報共有を行っている。

学校間の映像・音声の相互交換による児童・生徒のコミュニケーションを促したり、ニューメディアへの関心、興味、認識を深めることによる教育的効果を高めている。

また、教職員の情報共有を進めることで、教材や試験問題作成の労力を削減し、教育の質を高めることを目指している。

学校間インターネットビデオ配信システム



(問い合わせ先)

岸和田市企画調整部情報政策課 TEL072-423-9514

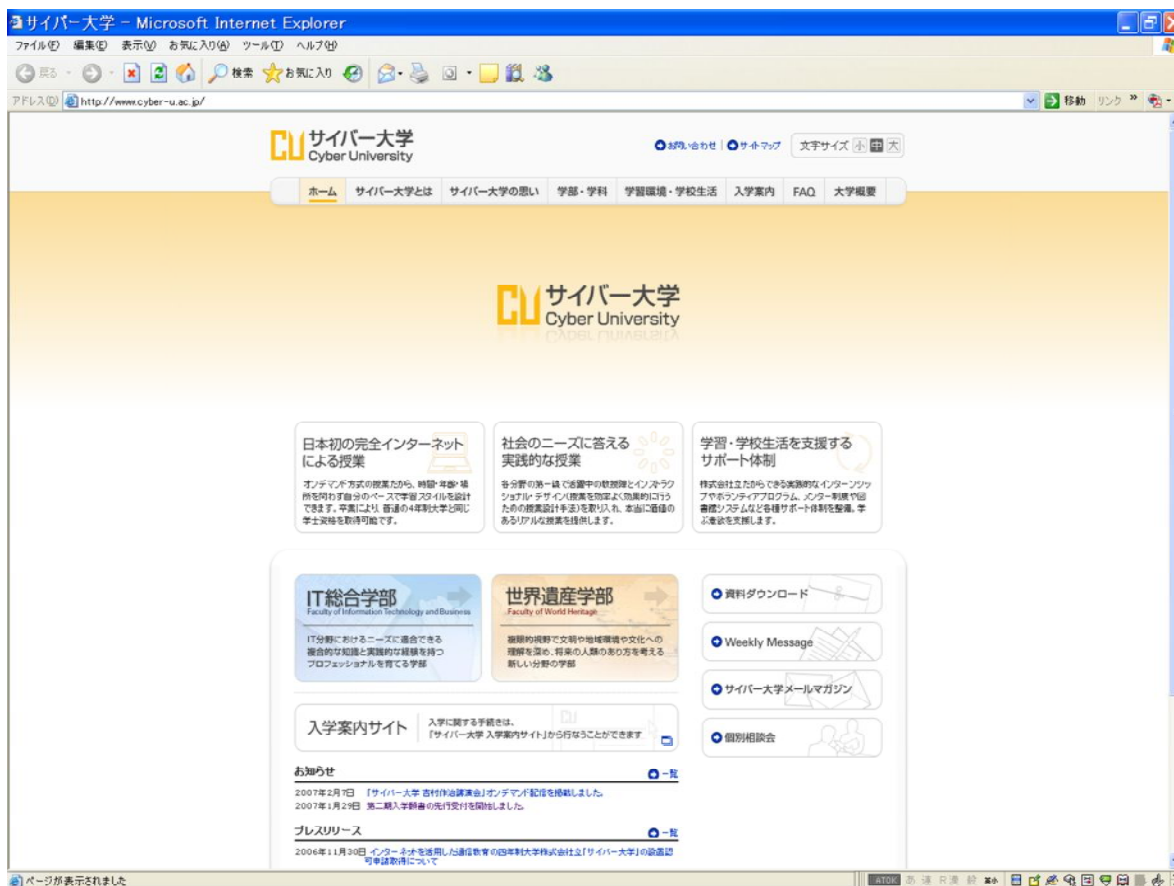
(教育・文化分野－7)

ブロードバンドを用いて学術研究を実現する大学
「サイバー大学」の開学
(株式会社日本サイバー教育研究所)

サイバー大学は、インターネットを総合活用した学習により、地域や年齢、時間、ハンディキャップの有無を問わず幅広い学びの場を提供し、教育格差の解消を目指す日本で初めての4年制大学。

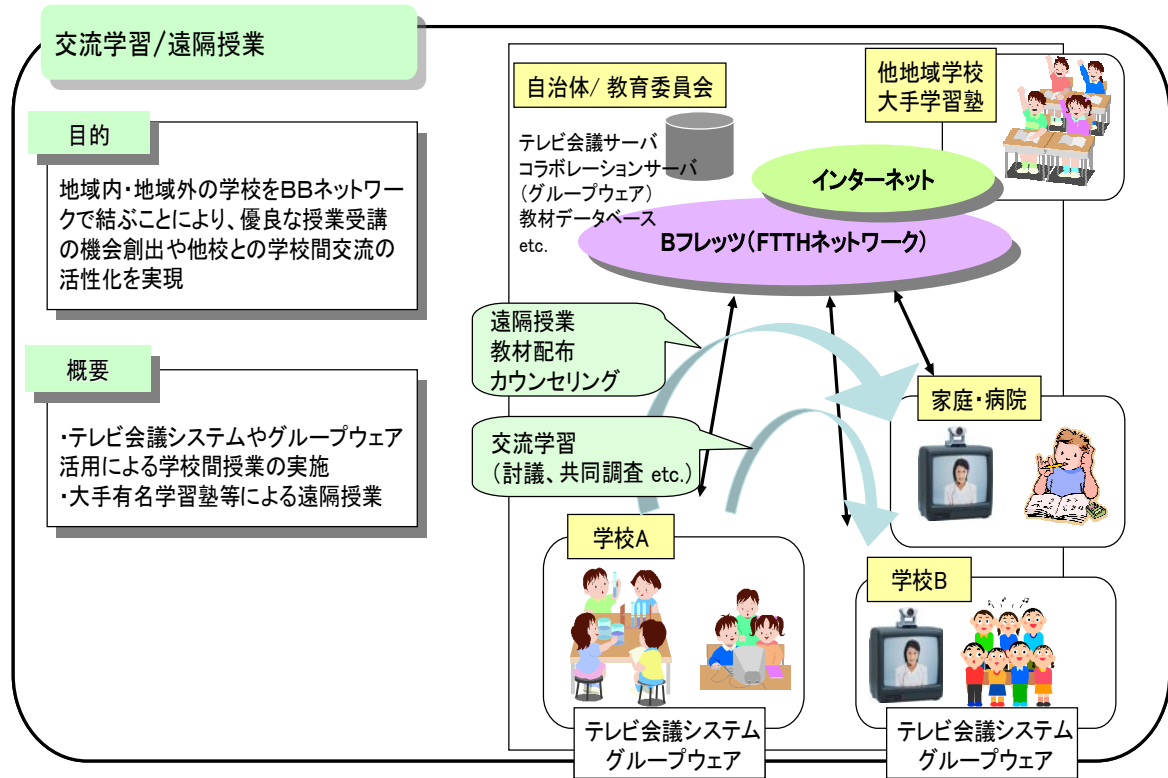
(<http://www.cyber-u.ac.jp/>)

(サイバー大学ホームページより)



(教育・文化分野－8)

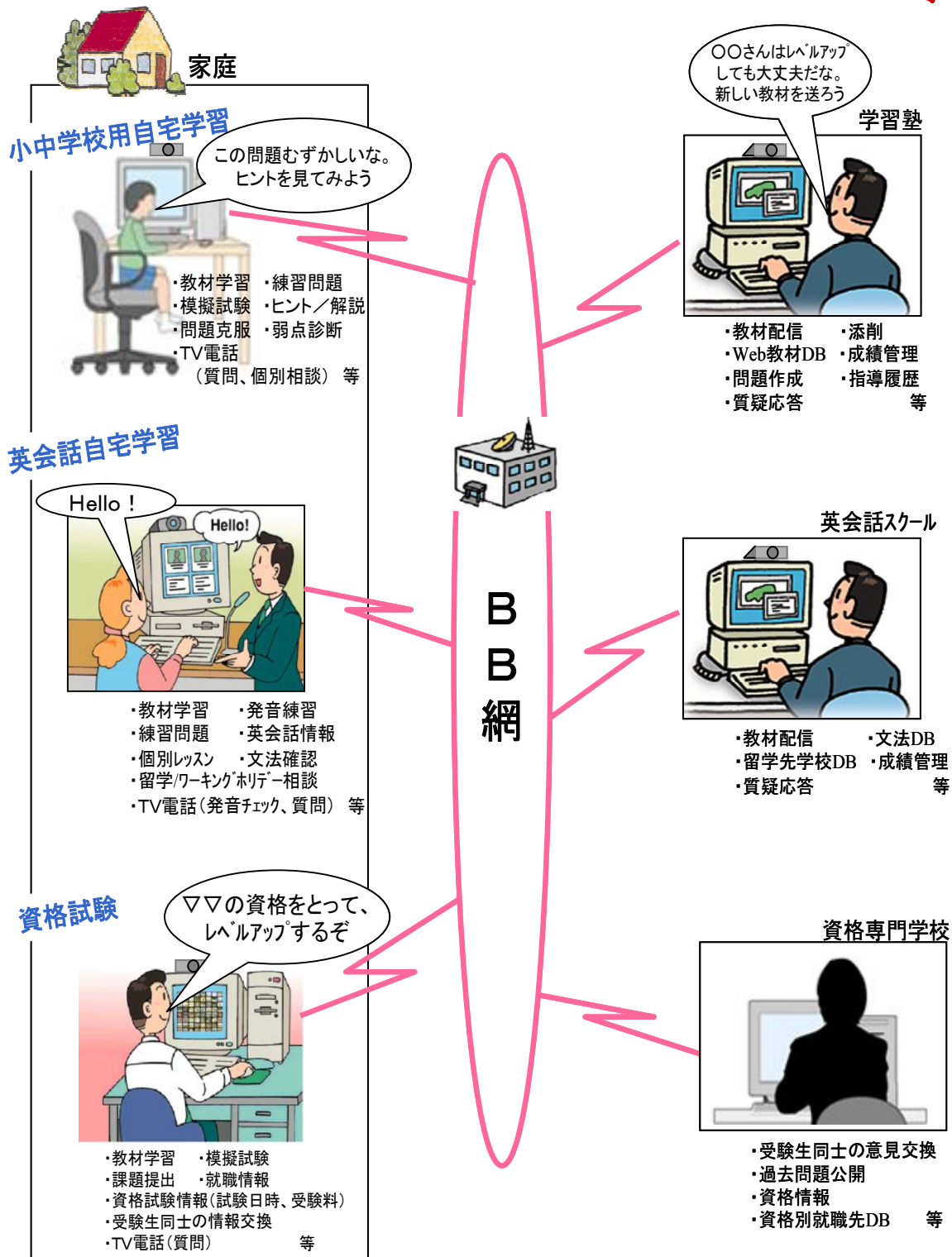
教育部門における光ネットワークの活用モデル (構想)



(東日本電信電話(株)作成資料より)

(教育・文化分野－9)

ブロードバンドネットワーク網で何ができる？ 在宅学習編



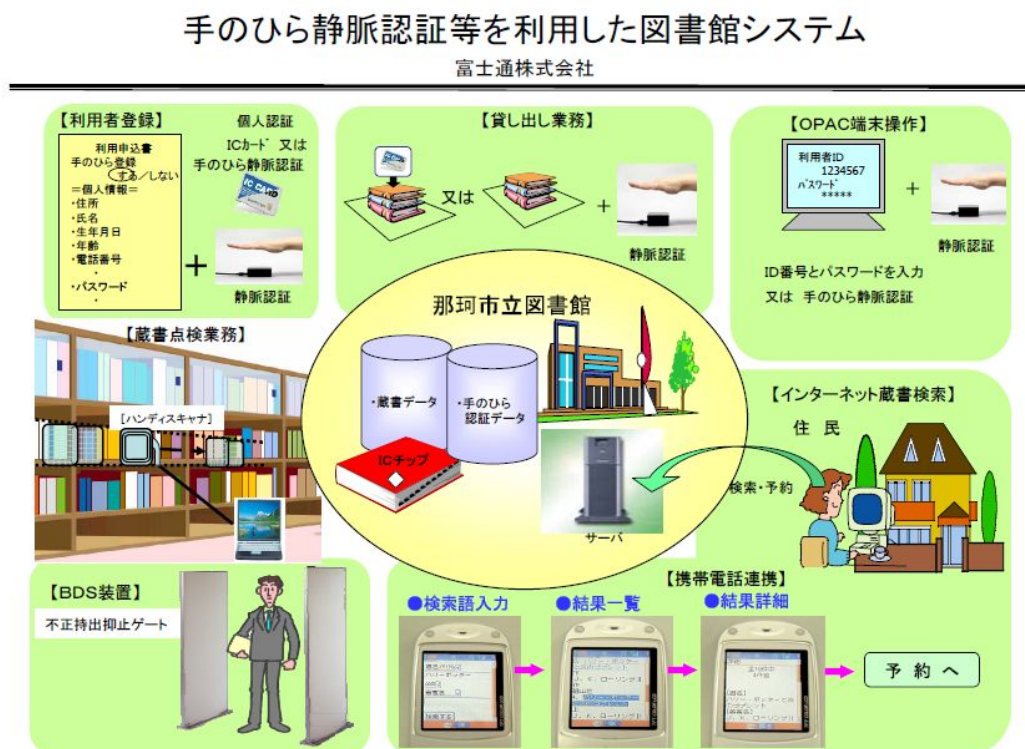
(松下電器産業(株)作成資料より)

(教育・文化分野－10)

『手のひら静脈認証等を利用した図書館システム』(富士通株式会社)

住民への利便性や安全性、運用の容易性、環境への配慮を実現するため、インターネットによる検索・予約のほか、本人認証において生体認証(非接触型手のひら静脈認証システム)を活用するとともに、ICタグを用いた貸出業務・蔵書管理等を導入したシステム。

利用者はカードを所有することなく、手のひら静脈認証により本人認証を行え、簡単・安全に図書館サービスを受けることが可能となる。



(富士通(株)作成資料より)

(問い合わせ先)

富士通株式会社 ソリューション企画部 TEL03-6252-2511